**質問事項**

（１）技術仕様を忠実に実装することはできますか？

（２）当該技術仕様は将来的な普及促進につながると思いますか？

（３）技術および実装／運用コスト上、課題と考えられることは何ですか？

（４）技術仕様につき要望はありますか？

ご意見（A社）へのコメント（菅又：HS）

2017年1月6日

（１）技術仕様を忠実に実装することはできますか？

基本的には実装可能です。

ただし、自動印刷機能やオンプレミス業務アプリケーションとの連携については、利用ユーザー側の環境やニーズを確認した上で実装する必要があると考えます。

HS：ローカルプリンターによる印刷をコントロールするのは困難ですので「自動印刷」の定義を明確にしなければならないと思います。ユーザーに導入されるオンプレミスの業務アプリケーションは限定されるものではありませんので、業務アプリケーション側のマッピング機能は必要となると思います。

（２）当該技術仕様は将来的な普及促進につながると思いますか？

普及促進につながると思います。

ただし、オンプレミス業務アプリケーションとの連携部分などガチガチの詳細仕様で固めてしまうと普及に繋がらないと思います。

HS：オンプレミス業務アプリケーションとの連携部分の柔軟性を確保するため、マッピング機能を介在させるものと思います。

また、中小企業共通EDIメッセージフォーマットとユーザ―フォーマットとの変換設定は、一部の企業にはハードルが高いので、サービス提供の形式を含めるなどの措置が必要と考えます。

HS：ユーザ―フォーマットは必ず国連CEFACT情報項目にマッピングしてください。ただし、ユーザーにどう見せるかは工夫次第だと思います。

（３）技術および実装／運用コスト上、課題と考えられることは何ですか？

現時点で考えられる懸念点は以下のとおりです。

・データ連携ITツールのOSバージョンやJavaバージョン対応

HS：未確定です。当事業で設置された技術部会で検討したいと思います。

・企業コード等のマスタ更新

HS：ユーザーが行うのか、プロバイダーサービスで行うのか等、実証プロジェクトごとに検討されることを想定しています。ただし、共通にマスタ管理をすべきとのお考えがあれば、方法論等の提案を期待します。

・電子証明書を使用するとした場合の電子証明書の更新

HS：電子証明書の更新につきましては、SIPS発行のガイドが参考になると思います。

・オンプレミス業務アプリケーションと連動したEDIであることから運用サポートの切り

分けが難しい

HS：まさに運用費用に関わるところで、小生も懸念するところです。共通のルールについてのご提案を期待します。

（４）技術仕様につき要望はありますか？

・前提となるネットワークはインターネットでしょうか。

HS：ユーザーとの接続はインターネットを前提と考えています。

・インターネットであった場合、電子証明書等の利用はあるでしょうか。電子証明書を利用する場合は、認証レベルや証明書の運用について更なる要件検討が必要です。

HS：その通りです。認証機能やセキュリティ強度を統一すべきか否かは議論の余地があると思っています。

ご意見（B社）へのコメント（菅又:HS）

2017年1月6日

１．（仕様ではないですが）発注時期（開発開始可能時期）

2017年5月20日までのこの仕様でデータ連携ITツールを実務的に利用できるまでの品質で開発するのは、仮に今から開発しても結構ギリギリではないかと。

※川内さんには別メールでコメントさせて頂きました。

HS：5月20日はデータ連携ツール側のターゲットであり、実証プロジェクトでの実装は各実証プロジェクトのスケジュールに合わせて設定していただくものと思います。

２． CSVフォーマット変換マッピング機能

仮にこの機能を実装しても果たしてユーザ（中小企業）がこの機能を使うことができるかどうかは別問題かと思いました。現実的には主要アプリ毎に変換テンプレートを用意する必要があるかと思います。※弊社では「他システム連携の設定」でテンプレートを選ぶこと

ができるようになっております。

HS：ユーザーに導入されるオンプレミスの業務アプリケーションは限定されるものではありませんので、マッピング機能は業務アプリケーション側で持つ必要があると思います。

３．Basic認証

認証機能をBasic認証に限定しているのは、どのようないとがありますでしょうか？多くのベンダーが採用しているフォーム認証や更にセキュリティの強度を上げた認証形式の採用は不可でしょうか？

HS：認証機能やセキュリティ強度を統一すべきか否かは議論の余地があると思っています。

４．国際認定機関の付与した企業コード

国内に於いては「法人番号」をキーにすればよいかと存じますが、ここで定義している国際認定機関の付与した企業コードとは具体的に何を指してますでしょうか？因みに多くの中小企業はDUNSナンバーどころか帝国データのコードも持っていない可能性もあります。

HS：日本の法人番号は国税庁が国際認定機関（認定機関コード：402）となっていますので、国際認定機関が付与した企業コードです。

５．データの保存と検索

EDIデータに加えて添付ファイルも保存する必要がありますでしょうか？また保存環境では原則データは暗号化するべきかと存じますので、データの中身を検索するのではなく各データファイルの属性情報を外部テーブルに保持してその属性から目的のデータを検索し

暗号化データを受信者または送信者が複合化できる仕組みとする仕様にしなくても大丈夫でしょうか？

HS：これからの検討課題です。当事業で設置された技術部会にて課題提起したいと思います。

６．帳票印刷機能

「発注者の帳票ファイルを自動印刷する機能」に関しては実現不可能ではないですが、かなり難しいと思います。まずローカルプリンターをWebから認識させなければなりませんが、発注者の環境によっては（セキュリティ意識が高ければ高いほど）Webからローカル環境へのアクセスは遮断されていることが多いかと存じます。そこを敢えて実装しようとしてもFir ewallなどでクラッキングと認識されるとアラートが上がります。今回の開発期間ではWeb上でPDFを出力する機能を提供しローカル環境への印刷までとするか、それができるツール（結構高価なツールですがユーザの環境ごとにライセンスと設定が必要となりますので現実的ではないかと存じます）※Web或いはクラウド上からではなく、各PCなどに印刷用プログラムをインストールしてハンドリングすることも考えられますがいずれにしてもローカル環境での印刷を自動的に行うのは高コストになるのと期間的にも厳しいように思います。

HS：ローカルプリンターによる印刷をコントロールするのは汎用化に課題を残します。「自動印刷」の定義を明確にしなければならないと思います。

７．ebMSの実装

スミマセン。。ebMSに関して不勉強なのですが、一般のWeb系プロトコルではなくebMSのプロトコルを一から実装しようとするのは、この期間では現実的ではないように思います。（スミマセン。。

何かOSSなどで簡単に実装できるプラグインなどがあれば大丈夫かと思いますが、私が知らないので保守的に申し上げております。。m(\_\_)m）

HS：現在、レガシーのEDIをサポートする多くのプロバイダーはebMSをサポートしています。ただ、クラウド環境でどう扱うかについては未検討ですので、ご提案を期待します。

８．オンプレミス用連携共通I/F

対象はWindowsでよろしいでしょうか？バージョンの指定などありますでしょうか？

HS：WindowsかJavaかなど、未だ決まっていません。バージョンを含め、技術部会の検討事項にしたいと思います。

９．送達確認情報連携機能

「２．４」に記載の仕様は主にオンプレミスを意識した仕様に見えますが、パスなどは現実的な実装仕様に置き換えて検討すればよろしいでしょうか？

要件としては送達（相互のデータの伝達）結果や状況やエラー電文が必要なエンティティに正しく表示されるという意味で解釈していおります。

HS：「２．４」の仕様はレガシーEDIサービスの連携だけを考慮したものであり、クラウドEDIサービスやレガシーとの相互接続（可能であれば）などについては未検討です。ご提案を期待します。

１０．（仕様ではないですが）運用保守など

本件「データ連携ITツール」をクラウド上に開発及び構築するだけでなく、現実に運用したり場合によってはメンテナンスする必要があるかと存じます。

その運用要件（例えば24時間365日の運用監視やセキュリティ監視、バックアップや二重化など）やその運用保守費用に関してはどのように考えたらよろしいでしょうか。

また他のベンダー様などが連携したり実装する上で技術サポートなどが現実的に必要になるかと存じますが、この工数はどの程度見込んでおくべきでしょうか？またその費用に関してもどのようにお見積りしたら良いかなどご相談させて頂きたく存じます。

HS：実証終了後のサービス提供における運用・保守費用はサービス提供者自身の責任で行っていただくことになります。すなわち、運用・保守費用を考慮したサービス料金の設定など、サービスを継続できるビジネスケースを策定すべきと考えます。

C社ご意見

> （１）技術仕様を忠実に実装することはできますか？  
下記不明点があるため、そのままでは難しいと思いました。  
・振り分け機能で、ASP間接続のルーティング仕様が明確でないようです。今のままですと、宛先を見てもどのASPに投げればよいかが不明です。  
・送達確認についての仕様が明確でないようです。ASP間仕様の取り決めが必要です。  
・発注者帳票の送達・自動印刷機能で、帳票ファイルの受け渡しについての仕様が明確でないようです。また、自動印刷のイメージがよくわかりませんでした。FAXのように使いたいということでしょうか。  
・大手業界標準EDIサーバーとの接続仕様が不明確かと思います。  
  
> （２）当該技術仕様は将来的な普及促進につながると思いますか？  
下記、理由によりハードルが高いと考えています。  
・大手業界標準EDIサーバとの接続があるため、そこと接続したい中小企業からマッピング費用を徴収することになり、費用面で利用することが難しくなることが想像できます。  
・現状、大手発注企業は、サービス事業者経由でEDIを行ってるケースがあり、そこに対して新しい仕組みを持ってもらうことが難しいと思います。  
・数の商売のため、サービス事業者は大手発注企業を取り込むことがビジネスモデルの主体となり、そこの要求が反映されるという従来型のモデルと変わらなくなり、標準がないがしろにされる懸念があります。  
・上記課題を払拭したとしても、技術仕様だけでは普及は厳しいと思います。普及させる仕掛け（強制力、費用負担の軽減など）が必要かと思います。普及率が100%近くないと、結局は「EDI標準の一つ」になってしまいそうで、それは避けたい思いです。FAXのような「多用途で使えるインフラ」化の目途がない限りは、どのような仕様であっても同じ結果になるような気がします。  
  
> （３）技術および実装／運用コスト上、課題と考えられることは何ですか？  
・フォルダ連携仕様は、アプリ同士の競合が起きやすいため止めた方よいかと思います。実装によって動きが異なるなど、トラブルの種になるかと思います。  
※上記以外は（１）（２）に記載した通りです。  
  
> （４）技術仕様につき要望はありますか？  
・OS依存の仕様となっているため、OS依存でない仕組みとしてほしいです。